



清水



南伊豆の魅力に触れる 小学生向けエコツアー

海洋学部環境社会学科の学生有志7人が10月17、18日に子ども向けの「南伊豆エコツアー」を開催した。

春学期に開講した「海の環境教育実習」の授業で企画したもので、5月には現地でのフィールドワークを実施。南伊豆町の職員や地元企業と打ち合わせを重ねながら、プランを練り上げた。

当日は清水校舎に隣接する付属小学校の児童22人が参加。林業者を訪れ、ツリークライミングや落ち葉を使ったはがきやおり作りを体験した。さらに2日目は、アイゴなどの魚を地元の漁協から譲り受け、あら汁作りにも挑戦。初めて魚をさばく児童も多く、最

初は「気持ち悪い」と話しながらも、徐々に上達し、完成すると「おいし」と何度もおかわりする児童もいた。

学生代表を務めた小松原正志さん(4年)は、「プログラムに教育的要素を入れたり、予算との折り合いをつけたりののが難しかった。地域の方々の協力もあって、充実したツアーになり、子どもたちが喜んでくれてよかった」と話していた。